

福祉

（高齢・介護・障がい）の窓

ご存じですか 在宅サービス

介護認定で、『要介護1〜要介護5』に認定された方は、現在の生活機能を維持・改善しながら、在宅で生活を継続するために、『在宅サービス』が利用できます。

主な在宅サービス

① 通所介護（デイサービス）

通所介護施設で、食事や入浴などの日常生活上の支援や、着替えや排せつなどの生活行為を向上させるための支援を日帰りで行います。

② 通所リハビリテーション（デイケア）

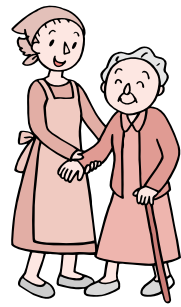
老人保健施設や医療機関などで、食事や入浴などの日常生活上の支援や、リハビリテーションを日帰りで行います。

③ 訪問介護（ホームヘルプ）

ホームヘルパーが居宅を訪問し、入浴や排せつ、食事などの身体介護や、調理や洗濯などの生活援助を行います。通院などを目的とした乗降介助も利用できます。

④ 訪問看護

看護師などが、病気のある方の



居宅を訪問して医師の指示に基づく医療処置などを行います。

⑤ 住宅改修費の支給

日常生活の自立を助けるため、居宅の段差解消や手すりの取り付けなどの住宅改修を行うときに、改修費用（上限20万円）を支給します。

なお、支給を受けるには、事前に申請が必要です。

このほかにも、訪問リハビリテーションや居宅療養管理指導、福祉用具貸与、短期入所生活・療養介護（ショートステイ）などがありますので、詳しくはお問い合わせください。

在宅サービスを受けるには

居宅介護支援事業所と契約していただくと、ケアマネジャーが『介護サービス計画』を作成しますので、この計画に基づいて利用することになります。

▼問い合わせ 高齢・介護グループ
☎ 5720

人が輝き まちがとぎめく

仲間たち

Group

ラテーノス・サルサ

『ラテーノス・サルサ』は、平成13年にサルサダンスをみんなで楽しむために結成されたサークルです。

現在、会員は10人で、毎週月曜日の18時から21時まで、ホンジュラス（中米）出身のフェリックス・ゲバラさんを講師に迎えて、市民会館でサルサを楽しんでいます。

「サルサは、もともとキューバが発祥で、さまざまな国や地域の音楽が融合してできたものです。基本はもちろんありますが、ほかのダンスのように型にはまったものではなく、ラテンの情熱的な音楽に合わせて自然と体を動かすのが特徴なんですよ」と話すのは、代表の川村文江さん。

「サルサはペアで踊るのが基本ですが、個人でも団体でも楽しく踊ることができます。服装は自由

で、靴も最初はどんなものでもかまいません。講師のゲバラさんは本格的にサルサを勉強した方なので、ダンス経験のない初心者でも丁寧に教えてくれますよ。特に男性のメンバーが1人しかいないので、もっと男性メンバーが増えてほしいですね。まずは見学に来てください」と川村さんは参加を呼び掛けていました。

平成14年に入会した山川さんは、「これまでにいろいろダンスをしましたが、以前からサルサに興味を持っていて、このサークルの存在を知り入会しました。サークルの皆さんは家族のような感じで毎回楽しく踊っています」と笑顔で話してくれました。

入会を希望される方は、川村さん（☎ 9114）までどうぞ。

ラテンのリズムに乗って楽しくサルサダンスしませんか

ラテンのリズムに乗って楽しくサルサダンスしませんか

ラテンのリズムに乗って楽しくサルサダンスしませんか

